



KODANSHA

「おもしろくて、ためになる」を世界へ
Inspire Impossible Stories

2023年12月18日

株式会社講談社

42年間売れ続けて2500万部超！初のアニメ映画也大ヒット上映中
黒柳徹子さん『窓ぎわのトットちゃん』がギネス世界記録™に認定
世界一売れている自叙伝に！

「トモエ学園の友達も喜んでくれると思う」(黒柳さん)

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

講談社が1981年に発売した黒柳徹子さん著の『窓ぎわのトットちゃん』は2023年12月14日(木)にギネスワールドレコーズから認定証が贈られ、「最も多く発行された単一著者による自叙伝」Most copies published for an autobiographical memoir by a single authorとしてギネス世界記録に認定されました。記録対象部数は2511万3862部(2023年9月末の全世界累計)です。

なお『窓ぎわのトットちゃん』42年ぶりの続編となる『続 窓ぎわのトットちゃん』も発売2ヵ月で50万部を突破、初の映像化となるアニメ、映画『窓ぎわのトットちゃん』も12月8日(金)、全国337スクリーンで公開して、ご覧になったお客様からは「涙が止まらなかった」「2023年を締めくくるに相応しい傑作！」など絶賛の声が集まっています。





◎ギネス世界記録認定の背景

黒柳さんが自身の幼少期を描いた『窓ぎわのトットちゃん』は1981年3月6日に発売されると、本の売れ行きがNHKのニュースになり、トラックに積まれた本が書店にどんどん運ばれていく様子が中継されました。現在まで108刷を重ねる(81年発行のオリジナル)単行本だけで585万部を売り上げ戦後最大のベストセラーに。文庫版などの形態を含めると800万部以上を国内で売り上げました。全世界では2500万部超、20以上の言語で翻訳され海外でも人気を博しています。特に1600万部を記録している中国では児童文学として位置づけられ、子供だけではなく教育者の中でも広がり、今では小学校の教科書にも収録されています。



なお、黒柳さんが司会を務めるテレビ朝日『徹子の部屋』も、2023年9月12日(火)に、「同一司会者によるトーク番組の最多放送」Most TV talk show episodes hosted by the same presenter 1万2100回でギネス世界記録を更新しました。

黒柳徹子さんのコメント

『窓ぎわのトットちゃん』は、トモエ学園の小林先生のことや、自分の子供の時のことを書いておきたいと、割と純粋な気持ちで書きはじめた本です。それが今回、自叙伝という形でギネス世界記録に認定いただいたこと心から嬉しく思います。前に、イギリスの方に『トットちゃんを読むと自由な気持ちになれる、それがすごくいいんだ』って仰っていただいて、そういうところが日本だけでなく海外の読者にも受け入れられたのかなと思うと嬉しいですね。これからも小さな子供や、若い方に読んでいただいて、優しい気持ちになってもらったり、小林先生のような自由なものの考え方をしてもいいんだと思ってくださったらと思います」

また、トモエ学園時代のトットちゃんが誰かに「やったよ!」と伝えるとしたら、まず一番に誰に報告したいと思うのでしょうかという質問には、「やっぱり泰明ちゃんかな。きっと泰明ちゃん喜んでくれると思います」、続けて「すごい物理学者になったタイちゃんも喜んでくれると思います」と答えた。



KODANSHA

「おもしろくて、ためになる」を世界へ
Inspire Impossible Stories

【書誌情報（単行本）】

- タイトル：窓ぎわのトットちゃん
- 著者名：黒柳徹子
- 発行：講談社
- 発売日：1981年3月6日
- 四六判 295 ページ
- 定価：1650 円（税込）
- 装画：いわさきちひろ ■装幀：和田誠



初の映像化、映画『窓ぎわのトットちゃん』大ヒット上映中！

映画『窓ぎわのトットちゃん』

出演：大野りりあな 小栗旬 杏 滝沢カレン / 役所広司

主題歌：あいみょん「あのね」(unBORDE/Warner Music Japan)

原作：黒柳徹子

監督・脚本：八鋤新之介 共同脚本：鈴木洋介

© 黒柳徹子 / 2023 映画「窓ぎわのトットちゃん」製作委員会

映画『窓ぎわのトットちゃん』公式サイト

<https://tottochan-movie.jp/>

<あらすじ> (公式サイトより)

落ち着きがないことを理由に、小学校を退学になってしまったトットちゃん。

新しく通うことになったトモエ学園の校長先生は、出会ったばかりのトットちゃんに優しく語りかけた。

「君は、ほんとうは、いい子なんだよ。」

トットちゃんの元気いっぱい、すべてが初めてだらけの日々が始まる――



【このリリースに関するお問い合わせ先】

講談社 宣伝統括部 (メディアプロモーション) 担当：二宮

Tel:03-5395-3961 mail: medias@kodansha.co.jp

※映画に関する内容や素材の問い合わせ先

東宝 宣伝部 03-3591-3511

紙・WEB 媒体担当：渡邊 080-7749-5185 na_watanabe@toho.co.jp

TV 媒体担当：西尾 080-1390-9679 a_nishio@toho.co.jp